

2019年度 避難所運営訓練/災害時避難所体験会 実施要領

1 主催

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

2 共催

沖縄市

3 目的

大規模災害発生の際、自治体職員の被災や行政機能の低下、人命救助の応急措置の実施などにより、行政が即座に地域に入ることが困難となることが想定されます。このことから「災害時外国人支援サポーター」を中心に避難所運営訓練を実施し、当日同会場で行う地域住民を対象とした「災害時避難所体験会」に訪れる一般参加者への対応や付与されるシナリオに取り組む事により、避難所を的確に運営するための基礎知識を深めることを目的とします。

4 参加対象者

(1) 災害時外国人支援サポーター

当財団で認定した「災害時外国人支援サポーター」は、訓練の中で主に避難所運営チームの一員として参加し、当日、地域住民を対象とした「災害時避難所体験会」に訪れる一般参加者への対応や付与されるシナリオに取り組みます。

(2) 一般参加者・地域住民

一般参加者・地域住民の皆様は災害時避難所体験会として、訓練当日、9時30分から13時までの間、自由に参加（出入り）していただきます。参加に関する申し込みも不要とします。訓練当日、直接会場に来場する形式とします。また、お年寄りや小さな子どもやペット同伴など、より現実に即した形で実施することとします。

5 実施日時

2019年11月5日（火）9:00～16:00（訓練/避難所体験会は9:30から13:00頃までです。）

6 集合時間

災害時外国人支援サポーター（避難所運営チーム）：9:00

一般参加者・地域住民（避難者役）：9:30～13:00*

*一般参加者・地域住民（避難者役）に関しては、9時30分から13時までの間、自由に参加（出入り）することができます。

7 場所 沖縄市農民研修センター 大ホール（沖縄市登川 2380）

8 実施内容

- (1) 当財団で養成した「災害時外国人支援サポーター」が、「災害時避難所体験会」に参加するために会場へ訪れる地域住民に対応することで実際に避難所を運営します。
- (2) 原則として、当財団で養成した「災害時外国人支援サポーター」が避難所運営を行い、地域住民や在住外国人が避難者役として参加しますが、一定時間経った段階で、サポーターも避難者役になることがあります。
- (3) 参加者同士で話し合い、次のような避難所運営チームを構成します。
 - ① 総務班（総務係、被災者管理係、情報係）
 - ② 物資・食料班（物資係、食料係）
 - ③ 環境班（施設環境係）

- ④ 保健・福祉班（保健係、福祉係）ほか
- (4) (一財) 熊本市国際交流振興事業団から講師をお招きし、地震発災時に実際に多言語支援センターを開設・運営した様子などをご講演いただく他、当時の様子を振り返りながら、今回の実際の訓練の講評を得ます。また、訓練での課題や改善点等を洗い出し、今後の避難所運営のみならず、防災や減災に向けてどのような取り組みができるかを考えます。

9 参加費

無料（来場者は、無料で非常食・炊き出しを試食することができます）

10 交通費の支給

「災害時外国人支援サポーター」の参加に関しては、同事業養成・派遣事業実施要領第8条第1項に基づき、自宅から会場近隣のバス停までの往復バス料金を交通費として支給します。

11 定員 避難所運営チームと避難者役合わせて100名程度

12 災害時外国人支援サポーター参加者の募集期間

9月1日（日）～ 10月14日（月）

13 災害時外国人支援サポーターの申し込み方法

- (1) 当財団のホームページ（<http://kokusai.oihf.or.jp>）内にある所定のオンラインフォームから **10月14日（月）までに** 申し込んで下さい。
- (2) 応募者多数の場合、募集を早めに締め切る場合があります。
- (3) 参加の可否につきまして **10月23日（水）までにメール等で応募者全員に通知**いたします。
(10月23日（水）以降、通知が届かない場合、当財団国際交流課までお問い合わせ下さい)

15 お問い合わせ

主催団体：公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 担当：葛・大見謝
〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> E-mail: kokusai@oihf.or.jp

共催団体：沖縄市役所経済文化部文化芸能課文化交流係 担当：親泊・方
〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根26番1号
TEL: 098-929-0261 FAX: 098-923-3485
E-mail: kokusaich@city.okinawa.okinawa.jp

当日のスケジュール（予定）

災害時外国人支援サポーター（避難所運営役）		地域住民・外国人等（被災者役）	
9:00 参加者集合/ 事前オリエンテーション ・多言語支援センターの役割の確認 ・各班に分かれてのオリエンテーション/訓練内容の確認		9:30～13:00 一般参加者来場*	
9:30～13:00 訓練開始・被災状況到達・状況対応			
●避難所巡回・外国人の被災状況の確認 ・災害対策本部（仮）からの外国人被災者情報の到達により、情報の多言語化や発信を行う。 ・避難所の通路を確保し、履物入れ（ビニール袋）の配布やトイレに関する説明を行う。 ・必要に応じて、ダンボールなどで間仕切りを行う。 ・サポーターは避難所を巡回し、巡回レポートをまとめる。 ・外国人住民避難者の状況を把握し、適切な情報提供と相談に応じる。 ・避難者カードの記入補助と回収を行い、適宜情報を集約する。 ・まとめたものを適宜外国人支援センターに提出する ●多言語支援センター ・サポーター、救援物資の受け入れ、マスコミなどの受入体制の確立 ・得られた情報を総括し、関係行政機関へ報告を行う翻訳対応 ・災害対策本部から入る新しい情報を必要に応じて翻訳し、掲載する。また、必要に応じて関連団体と情報共有を行う。		●避難者カードの記入 ・災害時外国人支援サポーターから配布される「避難者カード」を記入する。 ●車椅子の避難介助訓練の参加 ・サポーターと協力し、体の不自由な避難者の避難誘導を想定した車椅子介助訓練への参加 ●ペット同伴の避難訓練の参加 ・実際にペット同伴で、施設内において、避難訓練に参加する。 ●避難生活お役立ち講座の講習 ・自主防災組織職員が中心となって行う、「避難生活お役立ち講座」に参加。	
●炊き出し訓練 炊き出し訓練の一環として、お湯を利用し非常食をいただきます。			
14:00～16:00 訓練講評及び本日の振り返り （一財）熊本市国際交流振興事業団 事務局次長 勝谷 智美 熊本地震発災時に実際に多言語支援センターを開設・運営した様子を後援いただき、当時の様子を振り返りながら、今回の実際の訓練の講評を得る。また、訓練での課題や改善点等を洗い出し、避難所運営のみならず、今後の防災や減災に向けどのような取り組みができるかを考える。			

*一般参加者・地域住民は、訓練当日 9 時 30 分から 13 時の間、自由に訓練に参加（出入り）することができます

